

首相が最も期待を寄せるファイザーのワクチンは零下七十度での管理が必要ですが、当初、経産省の担当部署から厚労省に問い合わせても「製薬会社にまかせているから大丈夫」と当事者意識がなかった。内閣官房に和泉洋人補佐官を中心としたタスクフォースが設置されましたが、和泉氏が厚労省の権限英術次官を「準備が遅い」と怒鳴りつける場面も少なくない。ただ、当の権限氏は「いつも和泉さんには怒られているからね」とこたえていない様子です。「別の官邸関係者」



「再延期は不可能」と語る組織委員会の森喜朗会長

### 首相の「唯一の道」が崩れ去る

三つ目の難題が「安全性、有効性」。ファイザーワクチンは日本でも昨年十月から、百六十人を対象に治験が行われているが、首相と十二月十四日に面会した宮坂昌之大阪大学教授らは「殆どのワクチンの副反応は十万分の一、百万分の一の確率で現れる。百六十人に打った程度では、安全性、有効性の判定はできない」と指摘してきた。

実際、宮坂氏は厚労省出身の産科婦科医で、そうした懸念を伝えている。すると、菅首相は、「そりゃそりゃなんですけど、やらないと怒られるからやっています」と答えたのだ。ファイザーの回答。「弊社は、ワクチンの開発と供給に携わっているすべ

量のドライアイスの供給不足が懸念されているが、問題はそれだけではない。「ドライアイス」を詰められた段ボールにワクチンを入れて密閉して運びます。ただ、ライアイスは気化すると体積が増えるため、航空機に積める量が限られていない。それゆえ、いくら早くも大量に輸送したくても出来ないのです（厚労省幹部）

この関係者と緊密に連携し、安全性、有効性、品質を確保したワクチンを速やかに日本に供給出来るよう、準備を進めています。前出の政治部デスクが指摘する。

「厚労省は安全性には慎重な立場ですが、ワクチンに前のめりになる菅首相に逆らえないでしょう。しかし、スピードだけでなく、宮坂氏が懸念するような指摘こそ、国民に正確にアナウンスすべきです」

ワクチン接種が遅れ、感染拡大に歯止めがからなければ、東京五輪の開催も絶望的になってくる。事実、IOCのパウンド委員「ファイザー」が発言し、NYTアイズ紙も一月十五日「開催の望みは薄くなった」という見出しの記事を掲載。NHKの調査（二月十三日）でも「開催すべき」は僅か一六％に留まった。また、東京五輪選手村村長を務める川淵三郎氏は「開催に向けて努力している人たちの思いが実るのが一番」とした上で、小松がこう語る。

「開催するには国民の支援は不可欠。現時点では八割の人が中止に納得し、二割の人が喜び。喜び割合をどう増やしていくかが、国を挙げての成功の鍵。個人的には観客ゼロは絶対に避けたい。首相は延期を三ヶ月末と考えている。最終的にはIOCの判断だよ」

首相が政権を延命できる「唯一の道」は夏の五輪を成功させ、総選挙の無投票再選、そして解散総選挙に持ち込むことだ。だからこそ「五輪は絶対対等」と繰り返してきた。しかし三月の計画は断絶も崩れ去る。「あれだけ拘っていた五輪が中止となれば、首相の気力、体力がブチンと切れて

# スクープ 共通テスト



千代田区から4年経つ「ドン」、コロナ対策で目を浴びる「女帝」

六月に控える都議選の「前哨戦」と言われる千代田区長選（二月三十一日投票）で、都民ファーストの会、都議会自民党、双方にとって絶対には負けない戦いだ。そんな中、都庁の女帝小池百合子都知事（68）と都議会のドン、内田英元都議（61）が、なんと。

千代田区は小池氏がかつて「都政のブラックボックスの象徴」と狙い撃ちにした内田氏のお膝元だ。前回の区長選は両者の代理戦争と呼ばれ、小池氏が現職の石川雅己氏を支持、自民候補に圧勝し、内田氏は都議引退に追い込まれた。「だが、石川氏は区内のマンションを一般販売された入居した疑惑が発表、任期満了での退任を発表。区長選には都民ファアから樋口高

もおかしくない。無業の首相をこれ以上支える勢力も、党内には見当たらない。予算成立と引き換えに退陣を余儀なくされるでしょう（前出・首相周辺）

その場合、「後継」の首相は誰になるのか。「河野ワクチン相」です。さすがに菅首相としても、自らの影響力は少しでも残したい。首相は同じ神奈川県が地盤の河野氏に期待を寄せました。〇九年の総裁選で河野氏が出馬した際も支援している。逆に昨年の総裁選では、河野氏は首相の推薦人に名を連ねています。「次の首相に相応しい人」を問う毎日新聞の調査（二月十六日）でも、石破茂元幹事長を抜いて首位に立ちました。河野氏は麻生派の所属で麻生太郎副総理が認めれば、麻生氏、安倍氏らの支えも得ることができそうです。

「都連最高顧問として政治力は健在。同一年の二階後博幹事長とも気脈を通じています」（自民党関係者）

今回の区長選では、四年前の「リベンジ」とばかりに、早尾氏を支援する。そう思いきや。

「二人とも現役を退いたんだからあんまり突るのはやめようよ」

二月十日昼、千代田区内のボヤルにある日本料理屋

## 小池百合子とドン内田が手打ちしていた

「都連最高顧問として政治力は健在。同一年の二階後博幹事長とも気脈を通じています」（自民党関係者）

今回の区長選では、四年前の「リベンジ」とばかりに、早尾氏を支援する。そう思いきや。

「二人とも現役を退いたんだからあんまり突くのはやめようよ」

二月十日昼、千代田区内のボヤルにある日本料理屋

区内に掲げられた選挙ポスター

センター試験から衣替えした「共通テスト」だけ、この世の中も簡単には解けない謎だらけだ。女帝とドンが手打ちしたのはなぜ？ 気鋭の若手女優がいきなり事務所を移籍したのはなぜ？ 読者諸君は今から出す「7つの難問」に答えられるだろうか。正解は。